

メドハギ

[草本] 《忌避》



<http://had0.big.ous.ac.jp/plantsdic/angiospermae/dicotyledoneae/choripetalae/leguminosae/medohagi/medohagi.htm> (左)



区別のポイント

日当たりのよい丘陵や土手などに多い。花序の柄は極端に短く、花は葉脇に群がって付く。

小さな3小葉が密生する。分枝が多い。

形態 多年草。高さ 10 ～ 100 cm。

分布 本州（山形県・福島県以南）・四国・九州

名前の由来 茎を占いの筮（めどき＝筮竹のようなもの）に用いたことによる。

葉 **〈全体〉** 3小葉をもった複葉。小葉は倒披針形～線形で長さ 1 ～ 2.5 cm、幅 2 ～ 4 cm。

〈葉柄〉 短い。

〈基部〉 小葉の基部はくさび形。

〈葉先〉 小葉の先端は切形か凹む。

備考

出典 1